

戦評

大会名 平成27年度第68回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技
日時 平成27年6月6日～8日
会場 マエダアリーナほか

男子決勝（6月8日）

弘前工業高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 23-25 \\ 25-16 \\ 25-18 \end{array} \right\}$ 1 五所川原工業高等学校

ファーストレフリース

津嶋 由香

セカンドレフリース

岡村 尚文

決勝は2年連続37回目の優勝を目指す弘前工業高校（以下弘工）2年ぶり8回目の優勝を目指す五所川原工業高校（以下五工）の6年連続同カードの対戦となった。決勝戦は高い打点とテンポの早いコンビネーションを得意とする両雄が激突した。弘工は多数のスパイカーが絡む攻撃で、決勝戦まで他を寄せ付けない。五工は安定したディフェンスから組み立てられる、速攻や時間差攻撃を得意とする。新人戦、春季大会と勝ち越している五工か、雪辱を晴らしたい弘工か。熱い戦いが繰り広げられた。

第1セット序盤、弘工は時間差攻撃で加点していく。五工はブロックでチャンスボールとし、時間差攻撃をしかける。弘工リードの8-3、五工が1回目のタイムアウトをとる。タイム後、レセプションが安定した五工は、テンポの早い攻撃や時間差攻撃が決まる。さらに、五工のブロックが決まり、9-11と差を詰める。五工のサービスエース、ブロックが決まり同点とする。セット中盤は双方が加点し、五工リードの21-20、弘工が1回目のタイムアウトを取る。終盤、安定した守備から4連続得点を挙げた五工が抜けだし、25-23で1セット目は五工が勝利した。

第2セット序盤、弘工はスパイカーを動かしながらテンポの早い攻撃で加点していく。五工はブロック、フェイントで得点するが、スパイクのミスが連続する。弘工が5連続得点でリードした8-4、五工1回目のタイムアウトを取る。タイム後、弘工はブロックとリズムの良い攻撃で主導権を握る。中盤は五工のレセプションが安定するが、弘工のブロックで一気に加点し、20-12とする。そして終盤、五工のミスが徐々に目立ちだす。得点の7割をスパイクで得点した弘工が2セット目を奪った。

第3セット序盤、両者安定したレセプションからのコンビネーションで加点していく。セット中盤、五工は高さのあるブロックと守備で連続得点し、弘工を猛追する。コートチェンジ後、五工のスパイクが決まり、同点とする。その後、弘工はアウトサイドのスパイク、時間差攻撃で差を広げる。弘工リードの19-15、五工は2回目のタイムアウト。タイムアウト後、弘工は一人時間差で一気に流れをつかむ。五工も応戦するが、25-18で弘工が3セット目も連取し、2年連続37回目の優勝を決めた。

戦評者 本間 貴士